

## 既存の計画等の策定の目的

### ・知床半島中央部地区利用適正化基本計画

#### 作成の目的

本基本計画は、「知床半島中央部地区」（知床半島先端部地区以外の国立公園内の地区。以下、「中央部地区」という。）において、本地区の良好な自然景観と多様な生態系を適正に保全しつつ、利用者により良い自然体験を提供し、さらにより良い形で後世に引き継ぐため、「あるべき姿（基本方針及び利用区分別取り扱い方針）」や「守るべき利用ルール（利用のコントロール及び利用の心得）」、「管理運営」等を定めることにより、利用の適正化を図ることを目的とする。

### ・知床エコツーリズムガイドライン

#### ガイドライン策定の目的

自然ガイドやガイド事業者が守るべき共通のルールを定め、地域で共有することによって、ガイドの質を維持・向上すると共に、安全管理と自然環境の保全が図られたガイドツアーの実施を奨励し、それを一般利用者へもアピールしていくこととする。知床で活動するガイドが本ガイドラインを遵守することで、知床の自然環境の保全が図られるとともに、ツアー参加者の高い満足度と安心感を保証し、知床で実施されるガイドツアーのステータスが高まることが期待される。

### ・知床五湖利用調整地区利用適正化計画（案）

#### 利用適正化計画により達成すべき目標

##### 自然環境保全上の目標

原生的な自然景観と生態系の保全を目標とします。知床五湖地区本来の原生的な自然景観と豊かな野生生物によって形成される多様な生態系を、人類共有の資産として将来にわたって保全するため、利用による自然植生やヒグマ等の野生動物への影響を最小限とし、人間と自然との共存を目指します。

##### 公園利用上の目標

知床五湖地区について、利用者が自らのニーズに応じた利用体験の機会を選択できるようにすることにより、利用者の満足度を向上させることを目標とします。具体的には、地上歩道は、より質の高い感動的な自然とのふれあいや原生的な自然の体験を行える空間とするとともに、高架木道は、安全で安定的な利用が行える空間として活用し、利用者の期待への対応の幅を広げます。